

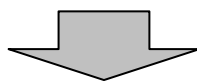
町立学校再編パターンの考え方

1. 住民の意向

(1) アンケート調査結果

① 小学校の規模

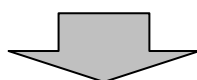
- 1学年あたりの学級数は、「2～3クラスが望ましい」との意見が全体の7割(71.2%)を占めている。その理由としては、“たくさんの友達ができる(63.3%)”, “さまざまな個性の友達と触れ合える(54.5%)”が5割以上となっている。
- 現状において1学年あたり1クラスとなっている実穀小, 吉原小, 君原小では、「1クラスがよい」との意見が最大で47.0%(君原小)であるが, 3校とも「2～3クラスが望ましい」との意見が上回っている。
- 1クラスあたりの児童数は、「20～30人程度」を適正とする意見が全体の95.1%を占める。



1学年2クラス以上, 1クラス20～30人を望む意見が多い

② 小学校の小規模化への対応

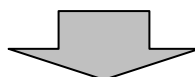
- 「すべての学校を対象に, 通学区域の見直しや統合をすべきである」(39.3%), 「現行のままの学校配置でよい」(33.6%), 「小規模校を対象に, 近隣の学校と統合すべきである」(23.9%)となっており, 回答に大きな差はない。
- 君島小と舟島小では, 「現行のままの学校配置でよい」との意見が4割を超えているが, 「すべての学校を～」や「小規模校を～」を合わせた“何らかの再編が必要”との意見は君原小が54.2%, 舟島小が52.0%となっている。



再編を必要とする意見が多いが, 現状のままを希望する人も3割

③ 通学区域を変更する場合の配慮

- 「遠距離通学者については、スクールバス等の通学方法に配慮する」との意見が52.6%で最も多い。次いで、「通学路は交通量の多い道路や川など、危険な場所がないように配慮する」(50.3%)、「遠距離通学にならないように配慮する」(41.5%)、「同じ地区の区域で、通学区域が分かれないうように配慮する」(35.2%)の順となっている。



遠距離通学への配慮として、スクールバス等の運行は不可欠

④ 自由意見(学校再編に関する主な意見)

- 新たに小学校を整備してほしい。(159件)
- 小規模校は統合してもよいのではないか。(85件)
- 再編により遠距離通学となる児童への対応(スクールバス等)が必要である。(50件)
- 1クラスの児童数が多くなりすぎるのは問題である。教員の人数を増やしてほしい。(49件)
- 小規模校や大規模校の再編だけでなく、町全体で再編を検討すべき。(43件)
- 現状のままでよいと思う。(43件)
- 通う学校を選べるとよいと思う。(32件)

(2) 意見交換会での意見(要約)

① 再編検討の進め方について

- 具体的な学校再編のパターンがないと意見も出づらい。
- 阿見町の将来構想，ビジョンを示してほしい。
- 全体的な再編計画を策定した上で，段階的な再編をした方がよい。
- まず，新設校の建設を決定したうえで，その他の学校の再編を検討するべきではないか。
- なぜ再編の検討なのか，ということを明確にして説明しないといけない。
- 財政面や教育面など，色々な要素から再編が比較検討できるようにしてほしい。

② 再編について

- 小規模校では，メリットよりもデメリットの方が多い。
- 子どものことを考えれば，統合してほしい。
- 統合をするならしても良いと思う。
- 小規模校は教室が空いているのだから，大規模校から来てもらうという発想もあるのではないか。
- 複式学級になるのは嫌だ。
- 小規模校を統合する場合は，統合先を複数の学校に分けないでほしい。
- 新しい道路が整備され，通学もしやすくなったので再編しやすいと思う。
- 現時点で学校間の交流があるところは，それを踏まえて再編を検討してほしい。
- 兄弟姉妹で別の学校に通うことにならないよう配慮してほしい。
- 再編パターンは中学校も考慮して検討すべきだ。
- 仮設校舎の整備により運動場も狭くなっている。児童数が多すぎることは教育環境としてよくないのではないか。

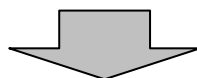
③ 統合に反対する意見

- 歴史のある学校なので廃校にしてほしくない。
- 再編にあたっては，学区の変更で対応してほしい。

- 学校が無くなる，子どもがいなくなるということは地域が疲弊，衰退化するのと同じである。
- 学校は地域の防災拠点（避難場所）であるとともに，小学校区単位で住民活動が行われているものもある。学校教育とはまた別な役割もあるので，そうした意見も取り入れたほうがよいと思う。

④ 再編に対する要望

- 子どもにも意見を聞いた方がよい。
- デメリットについては出来るだけ問題を解消できるように，本当によく地域の人たちの立場に立って検討しなくてはいけない。
- 町民に広く意見を聞く機会を多く設けた方がよい。
- P T A活動に配慮した計画にしてほしい。
- 地域としても色々な可能性があるのですが，どのような再編がいいのか議論しておかないといけない。
- 日本の人口は減少傾向にあるので，新たに住宅地を開発分譲しても入ってくる人がいるのか。
- 学校を新設するよりも，スクールバスの運行に予算を回した方がよい。
- 現在も路線バス代を払って登校しているが，他市町村ではありえない。
- 通学路の安全対策をしてほしい。
- どこの学校に行ってもよいのではないかと。



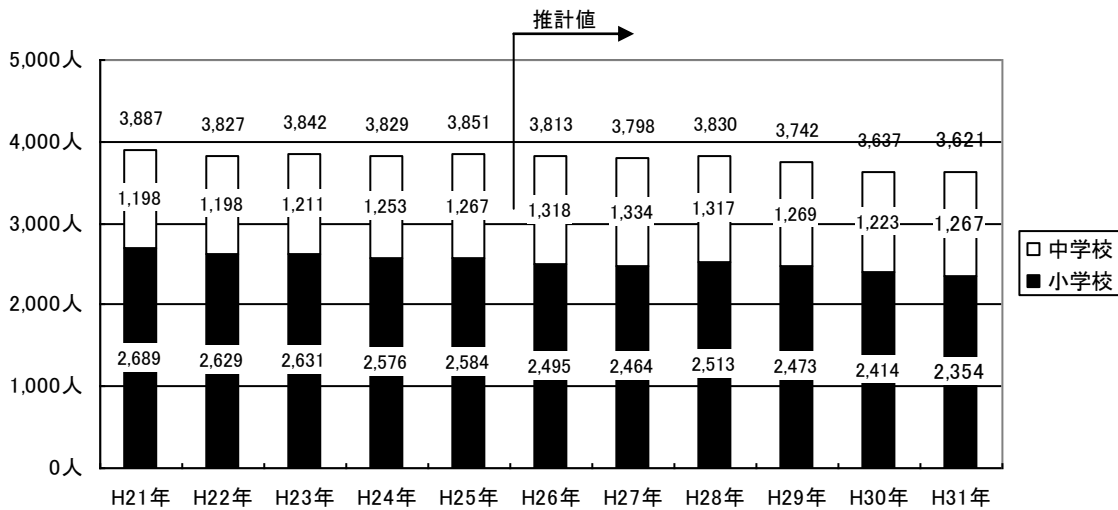
小規模校を中心に現状維持を望む意見がある一方，子どもへの教育を考え，再編（統合）を行ってほしいという意見もあり
本郷小学校区では，児童数の増加による教育環境への影響を指摘する声が多く，小学校新設へのニーズは高い

2. 児童・生徒数の推計

平成25年4月1日現在の住民基本台帳における0～5歳児、平成25年5月1日現在の児童・生徒が翌年にそのままの人数で年齢・学年が1つ上がる（小中学校への就学も含む）と仮定した場合、平成31年の児童数は平成25年の2,584人から230人減の2,354人に、生徒数は平成25年と同じ1,267人になることが予想される。

小学校別でみると、本郷小は今後も児童数の増加する一方、他の学校は減少やほぼ横ばいで推移する結果となっている。

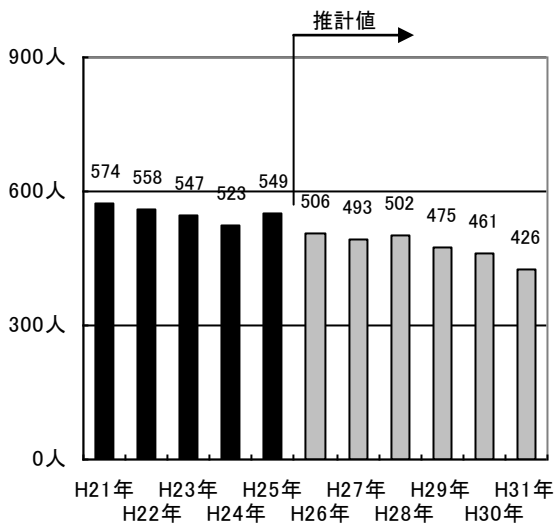
図1 児童・生徒数の推計



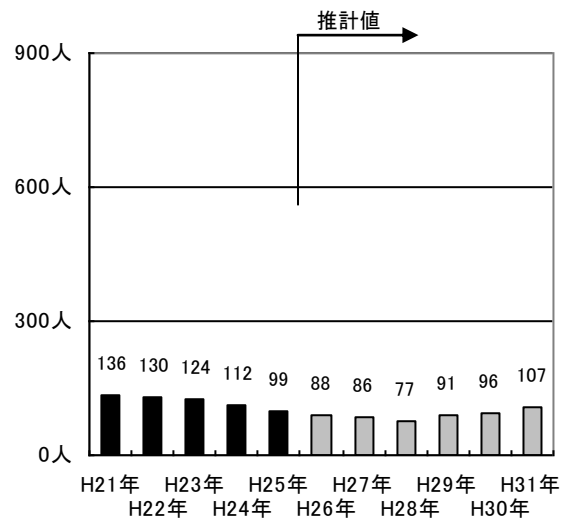
※H21～25年は学校基本調査（各年5月1日現在）の実績値

図2 学校別児童数の推計

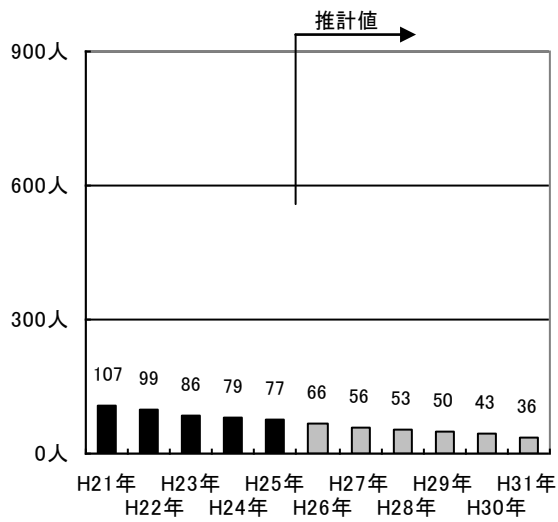
① 阿見小学校



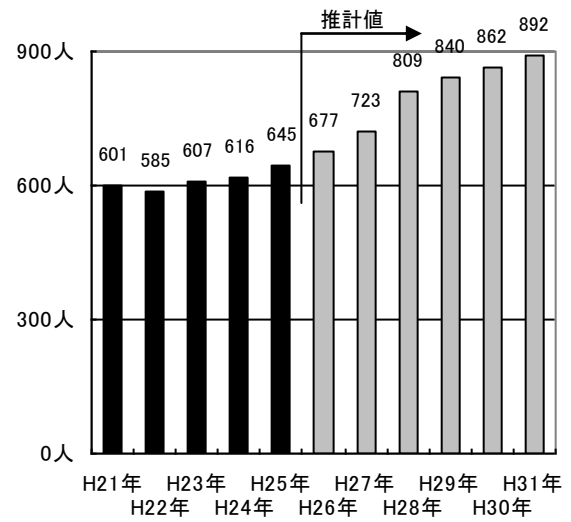
② 実穀小学校



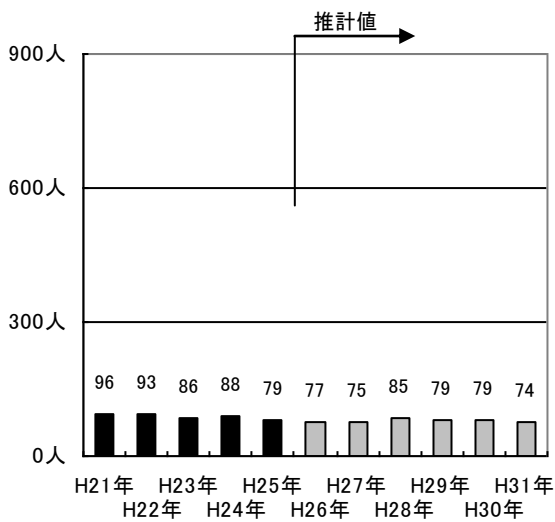
③ 吉原小学校



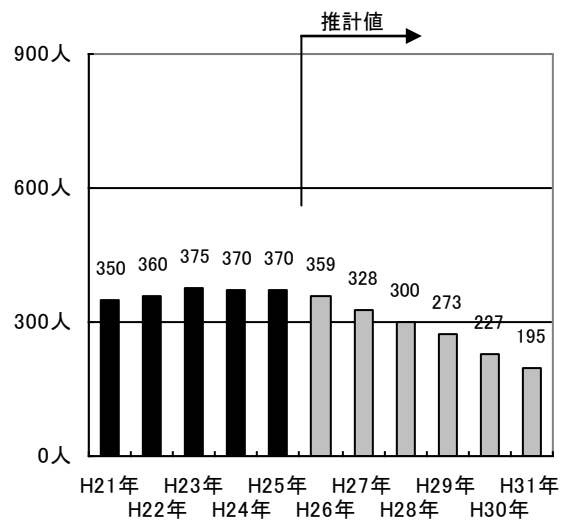
④ 本郷小学校



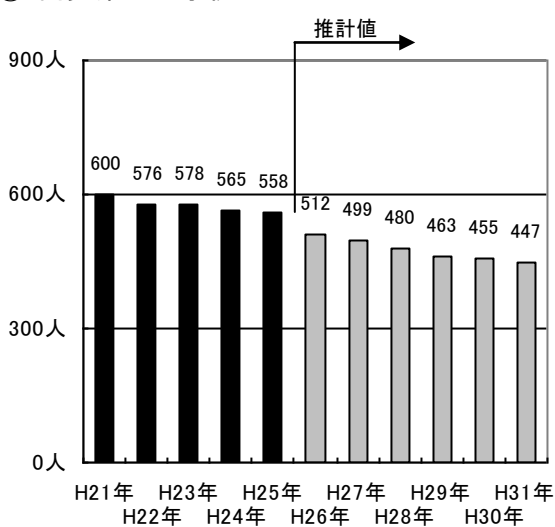
⑤ 君原小学校



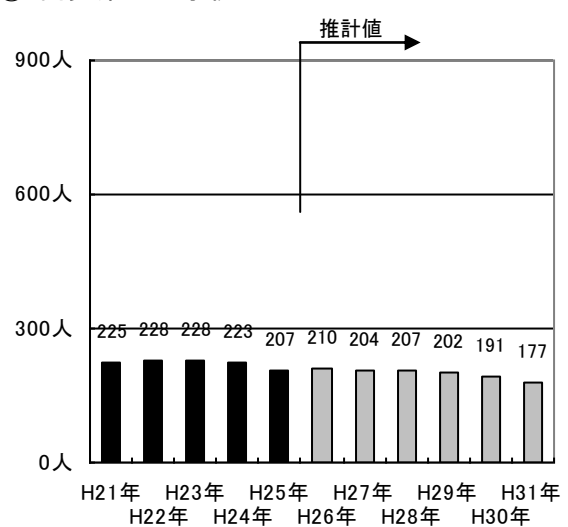
⑥ 舟島小学校



⑦ 阿見第一小学校



⑧ 阿見第二小学校



3. 公立小中学校規模の標準に関する国・県の基準等について

◆ 国の基準

※ 学校教育法施行規則

※ 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行令

- 標準学級数

 - 小学校：12学級～18学級（1学年2学級～3学級）

 - 中学校の標準学級数：12学級～18学級（1学年4学級～6学級）

- 1学級あたりの標準人数：40人以下

 - ※ 茨城県では、小学1年生～4年生と中学1年生に1学級の上限を35人で編成する少人数学級を導入している。

- 複式学級

 - 小学校：16人（1年生を含む場合は8人）

 - 中学校：8人

- 通学距離：小学校でおおむね4km以内，中学校でおおむね6km以内

◆ 茨城県教育委員会指針「小・中学校の適正規模の基準」

- 小学校では，クラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。

- 中学校では，クラス替えが可能ですべての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。（国語・社会・数学・理科・英語に複数の教員の配置が可能）

※ 複式学級に関する茨城県の基準

小学校：2つの学年を合わせた児童数が，

- ① 第1学年の児童を含む場合には，8人以下となった場合

- ② 第1学年を含まない場合には，16人以下となった場合

4. 町立学校再編の考え方

子ども一人ひとりの教育の充実及び阿見町全体の教育環境の均衡を図る



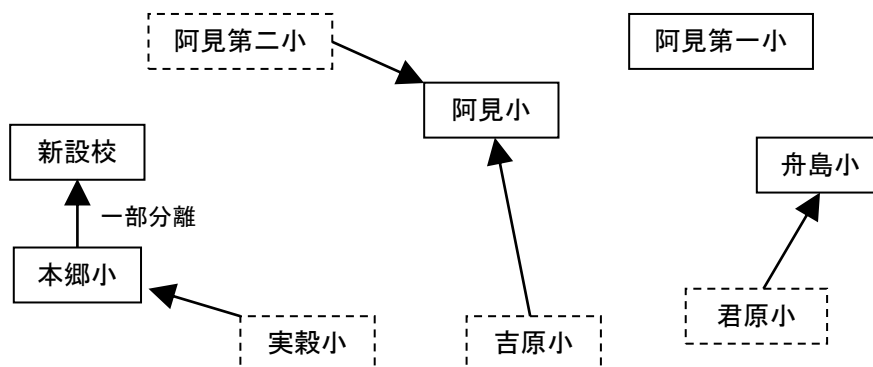
- (1) 今後も児童数の増加が見込まれる本郷小については、学区内に小学校を新設する。
- (2) 将来的に複式学級になることが予想される学校及び1学年2クラス以上の確保が困難な小規模校は、遠距離通学への配慮をしつつ、隣接校との統合を検討する。その際には以下のことを前提とする。
 - ① 行政区単位の学区とする。
 - ② 中学校3校は現状のままとし、学区は小学校単位とする。
 - ③ 国・県の基準を考慮した学級数とする。

5. 現時点における再編パターン(案)

(1) 再編パターン1	中学校を基本に小規模校を隣接校に統合し、新設校との5校に再編
(2) 再編パターン2	再編パターン1から、阿見第二小を現行のままとする6校に再編
(3) 再編パターン3	実穀小を残し、ここに阿見小の一部(三区上, 三区下), 吉原小, 本郷小(新設校分を除く), 阿見第二小の一部(一区南)を統合, 君原小を舟島小へ統合し, 5校に再編
(4) 再編パターン4	実穀小を残し, ここに本郷小(新設校分を除く), 吉原小を統合, 君原小を舟島小へ, 阿見第二小を阿見小に統合し, 5校に再編
(5) 再編パターン5	中学校区ごと各1校に再編
(6) その他の再編パターン	新設校を建設せずに学区変更で対応 小規模校同士の統合

(1) 再編パターン1

- 進学する中学校を基本に小規模校を隣接校に統合する。
- 実穀小，吉原小，君原小，阿見第二小を隣接校に統合し，本郷小の一部を新設校に分離し5校に再編する。
- 舟島小(君原小を統合)が，平成30年度以降の新入生は1クラスとなる。



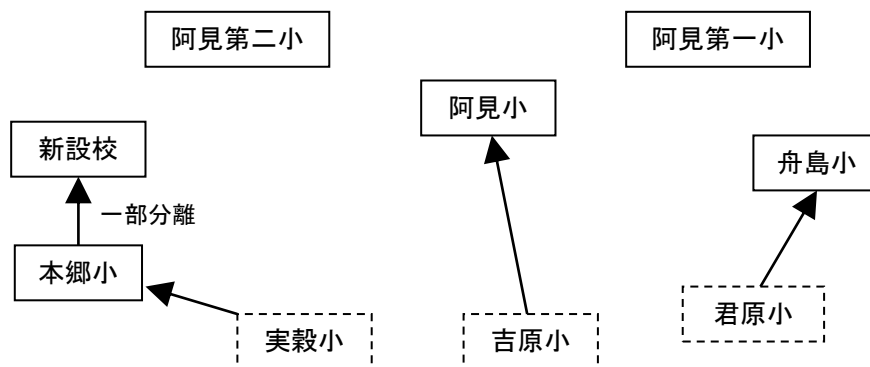
平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
			H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	阿見小	吉原小，阿見第二小を統合	阿見中	91	100	101	120	120	107	639
				3	3	4	4	4	4	22
2	本郷小	実穀小を統合，一部分離	朝日中	50	45	49	47	51	38	280
				2	2	2	2	2	2	12
3	舟島小	君原小を統合	竹来中	34	22	51	53	46	63	269
				1	1	2	2	2	2	10
4	阿見第一小	変更なし	竹来中	80	79	67	77	80	84	447
				3	3	2	3	3	2	16
5	新設校	本郷小から分離	朝日中	121	106	112	144	129	107	719
				4	4	4	5	4	4	25
			計	376	352	380	441	426	379	2,354
				13	13	14	16	15	14	85

(2) 再編パターン2

- 再編パターン1から、阿見第二小を現行のままとする6校に再編する案。
- 舟島小(君原小を統合)が平成30年度、阿見第二小は平成27年度以降の新入生が1クラスとなる。



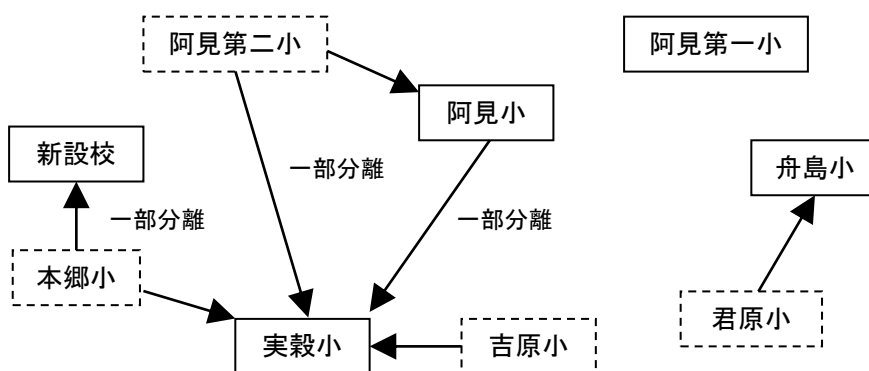
平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

小学校	再編案	H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
			H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	
1 阿見小	吉原小を統合	阿見中	68	75	77	85	86	71	462
			2	3	3	3	3	3	17
2 本郷小	実穀小を統合, 一部分離	朝日中	50	45	49	47	51	38	280
			2	2	2	2	2	2	12
3 舟島小	君原小を統合	竹来中	34	22	51	53	46	63	269
			1	1	2	2	2	2	10
4 阿見第一小	変更なし	竹来中	80	79	67	77	80	64	447
			3	3	2	3	3	2	16
5 阿見第二小	変更なし	阿見中	23	25	24	35	34	36	177
			1	1	1	1	1	2	7
6 新設校	本郷小から分離	朝日中	121	106	112	144	129	107	719
			4	4	4	5	4	4	25
計			376	352	380	441	426	379	2,354
			13	14	14	16	15	15	87

(3) 再編パターン3

- 町全体の配置と児童数のバランスを考慮した再編案。
- 実穀小を残し、ここに本郷小（新設校分を除く）、吉原小、阿見小の一部（三区上、三区下）、阿見第二小の一部（一区南）を統合する。
- 阿見第二小（一区南を除く）を阿見小に、君原小を舟島小へ統合し、5校に再編する。



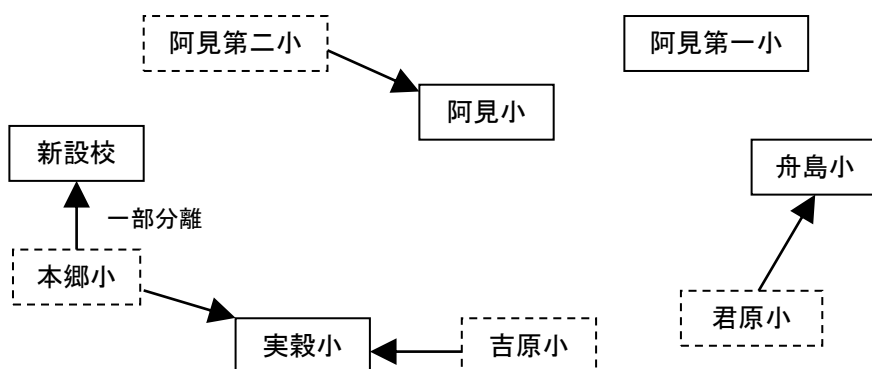
平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
			H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	阿見小	阿見第二小を統合，一部を実穀小へ	阿見中	80	91	88	103	104	97	563
				3	3	3	3	3	3	18
2	実穀小	阿見小・本郷小・阿見第二小の一部と吉原小を統合	朝日中	61	54	62	64	67	48	356
				2	2	2	2	2	2	12
3	舟島小	君原小を統合	竹来中	34	22	51	53	46	63	269
				1	1	2	2	2	2	10
4	阿見第一小	変更なし	竹来中	80	79	67	77	80	64	447
				3	3	2	3	3	2	16
5	新設校	本郷小から分離	朝日中	121	106	112	144	129	107	719
				4	4	4	5	4	4	25
			計	376	352	380	441	426	379	2,354
				13	13	13	15	14	13	81

(4) 再編パターン4

- 町全体の配置と児童数のバランスを考慮した再編パターン3から、阿見第二小の一部及び阿見小の一部を分離しない再編案。
- 実穀小を残し、ここに本郷小（新設校分を除く）、吉原小を統合、君原小を舟島小へ統合し、5校に再編



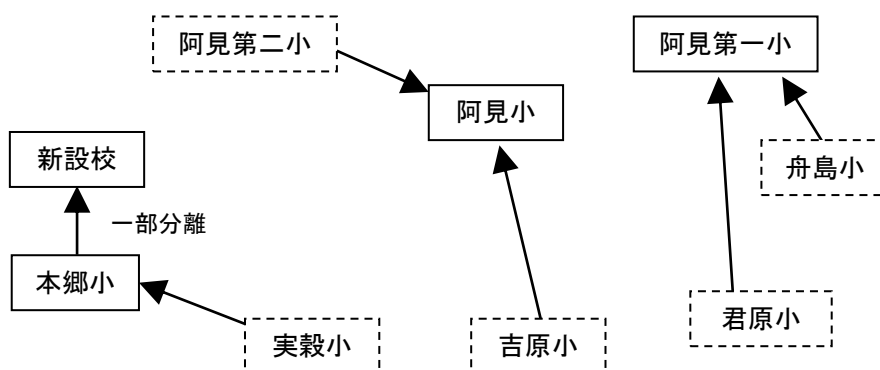
平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	児童数							H31
			H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
			H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	阿見小	阿見第二小を統合	阿見中	88	94	94	113	112	102	603
				3	3	3	4	4	3	20
2	実穀小	吉原小, 本郷小の一部を統合	朝日中	53	51	56	54	59	43	316
				2	2	2	2	2	2	12
3	舟島小	君原小を統合	竹来中	34	22	51	53	46	63	269
				1	1	2	2	2	2	10
4	阿見第一小	変更なし	竹来中	80	79	67	77	80	64	447
				3	3	2	3	3	2	16
5	新設校	本郷小から分離	朝日中	121	106	112	144	129	107	719
				4	4	4	5	4	4	25
				376	352	380	441	426	379	2,354
				13	13	13	16	15	13	83

(5) 再編パターン5

- 将来的に児童数の減少が進んだ場合の再編案。
- 阿見中・竹来中学校区に各1校，朝日中学校区2校の4校に再編する案。
- 舟島小地区，君原小地区からの通学が遠距離になる。(舟島小の一部地区については通学距離が短くなる)
- 本郷小は，将来的に建て替え時期を見通して，新設校に統合することが可能となる。



平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
				H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	
1	阿見小	吉原小, 阿見第二小を統合	阿見中	91	100	101	120	120	107	639
				3	3	3	4	4	4	21
2	本郷小	実穀小を統合, 一部分離	朝日中	50	45	49	47	51	38	280
				2	2	2	2	2	2	12
3	阿見第一小	君原小, 舟島小を統合	竹来中	114	101	118	130	126	127	716
				4	3	4	4	4	4	23
4	新設校	本郷小から分離	朝日中	121	106	112	144	129	107	719
				4	4	4	5	4	4	25
			計	376	352	380	441	426	379	2,354
				13	13	13	15	14	15	82

(6) その他の再編パターン

I 新設校を建設せずに、学区変更により対応。

【吉原小，君原小への編入】

- 両校ともに，校舎規模が学年1学級分の教室しかないため，受け入れは各学年10～15人程度までとなる。
- スクールバスを利用しても遠距離となる。(20分から25分程度)

【実穀小，阿見第二小への編入】

- いずれも，校舎規模が各学年2学級分の教室があるため，1学級分の児童の受け入れが可能で，比較的通学距離も短い。
- 実穀小学区に隣接する「一区」地区を編入する。
- 阿見第二小学区に比較的近い，「住吉」「二区北」地区を編入する。

平成31年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H31	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
			H25	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0～5計
1	阿見小	吉原小を統合	阿見中	68	75	77	85	86	71	462
				2	3	3	3	3	3	17
2	実穀小	一区を編入	朝日中	35	30	34	31	38	25	193
				1	1	1	1	2	1	7
3	本郷小	二区北，一区を分離	朝日中	103	85	102	120	113	80	603
				3	2	3	4	4	2	18
4	舟島小	君原小を統合	竹来中	34	22	51	53	46	63	269
				1	1	2	2	2	2	10
5	阿見第一小	変更なし	竹来中	80	79	67	77	80	64	447
				3	3	2	3	3	2	16
6	阿見第二小	二区北を編入	阿見中	56	61	49	75	63	76	380
				2	2	2	3	2	3	14
			計	376	352	380	441	426	379	2,354
				12	12	13	16	16	13	82

児童数

住吉	阿見第二小に変更		15	9	5	12	12	13	66
二区北	阿見第二小に変更		18	27	20	28	17	27	137
一区	実穀小に変更		11	13	10	20	18	14	86

Ⅱ 阿見小，舟島小，阿見第一小，阿見第二小を現状のままとして、本郷小の一部を分離した新設校の6校と，実穀小，吉原小，君原小の小規模校3校を統合した7校に再編。

- 3校で統合しても，多くの学年が2学級にならない。また，通学している中学校が別々である。

No	小学校	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H31
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	実穀小	24	17	24	11	20	11	107
2	吉原小	3	6	7	7	8	5	36
3	君原小	8	10	9	21	12	14	74
計	児童数	35	33	40	39	40	30	217
	学級数	1	1	2	2	2	1	